



製造業の競争力向上に資するIoTプラットフォーム

NTTデータ
ビッグデータビジネス推進室
2017年 4月

NTT DATA

- 潮流：製造業において、IoT/インダストリー4.0等が取り沙汰されている
→ 製造業のお客様において、データをオープンにすることを起点として、バリューチェーンを構成する様々なステークホルダーが継続的な課題解決を行う仕組みが必要とされている。
- 構想：各フェーズの担当毎に実施するのではなく、サプライチェーン全体を巻き込んだ連携が必要
→ 特に共通プラットフォームによる相互での連携強化

事業課題

Procurement	Product	Logistics
<ul style="list-style-type: none">● 各ベンダ毎のやりとりによるリードタイムの延伸● ダウンサイジングの短縮化	<ul style="list-style-type: none">● スループット低下の原因特定に多大な時間とコスト● 自動化が進んでいるものの効率化には未着手	<ul style="list-style-type: none">● 製品の販売先が把握できない● 共通化が進んでいない

共通プラットフォームによる連携支援

データのオープン化	情報分析・活用	業務の最適化/リアルタイム化
<p><u>オープンデータ化</u></p> <ul style="list-style-type: none">● センサデバイスからの収集● 大規模クラウドへの蓄積	<p><u>大量データの分析</u></p> <ul style="list-style-type: none">● 活動全般の見える化● 分析による価値創出	<p><u>業務プロセス改善</u></p> <ul style="list-style-type: none">● 活用APによる業務変革

弊社のこれまでの活動より、製造業のお客様に提供するIoTの発展を支える要素として真に求めるポイントは、下記の3つと想定しております。

Open
(Interoperability)

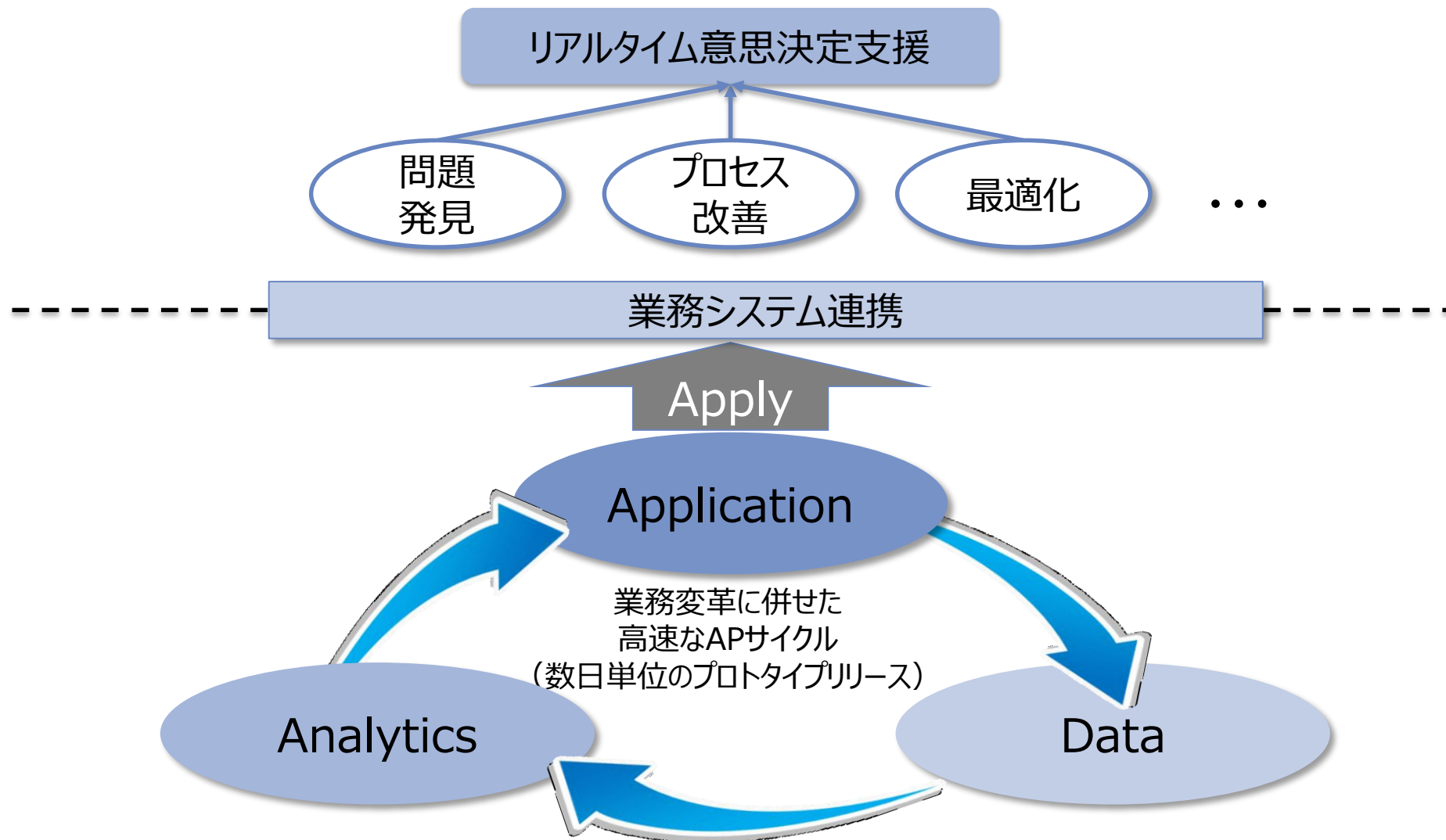
グローバルサプライチェーンにおける
データのオープン化と様々なステークホルダの参加

Real-time

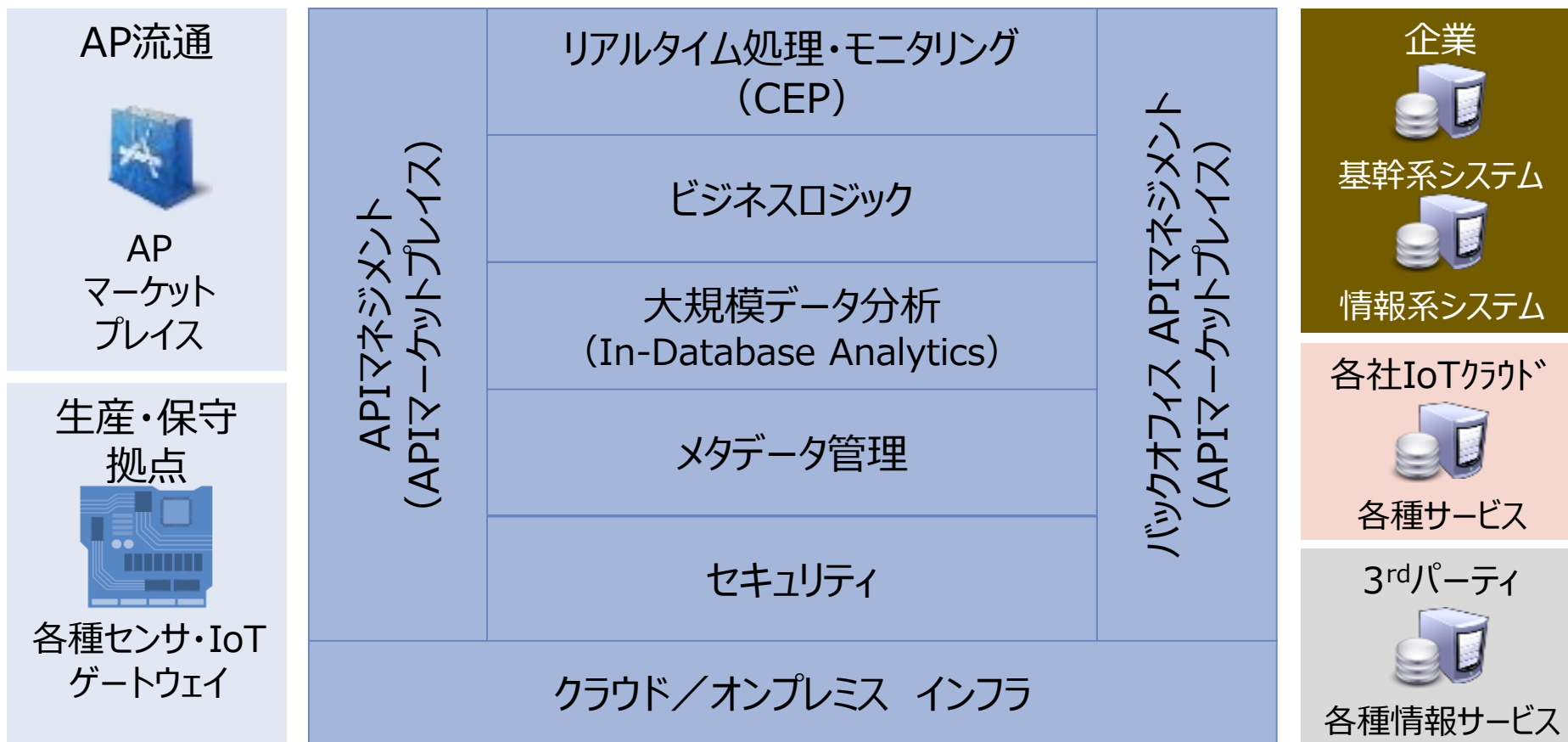
リアルタイムでのバリューチェーン全体の可視化
問題の「原因予測」に基づくPrescriptiveな工程介入

Evolutionary

ステークホルダー間による
分散的・自発的な業務プロセスの絶え間ない進化



大規模・リアルタイムデータ分析プラットフォームのビルディングブロックは、収集したデータを活用するアプリケーションを容易に構築・流通するための共通機能を提供

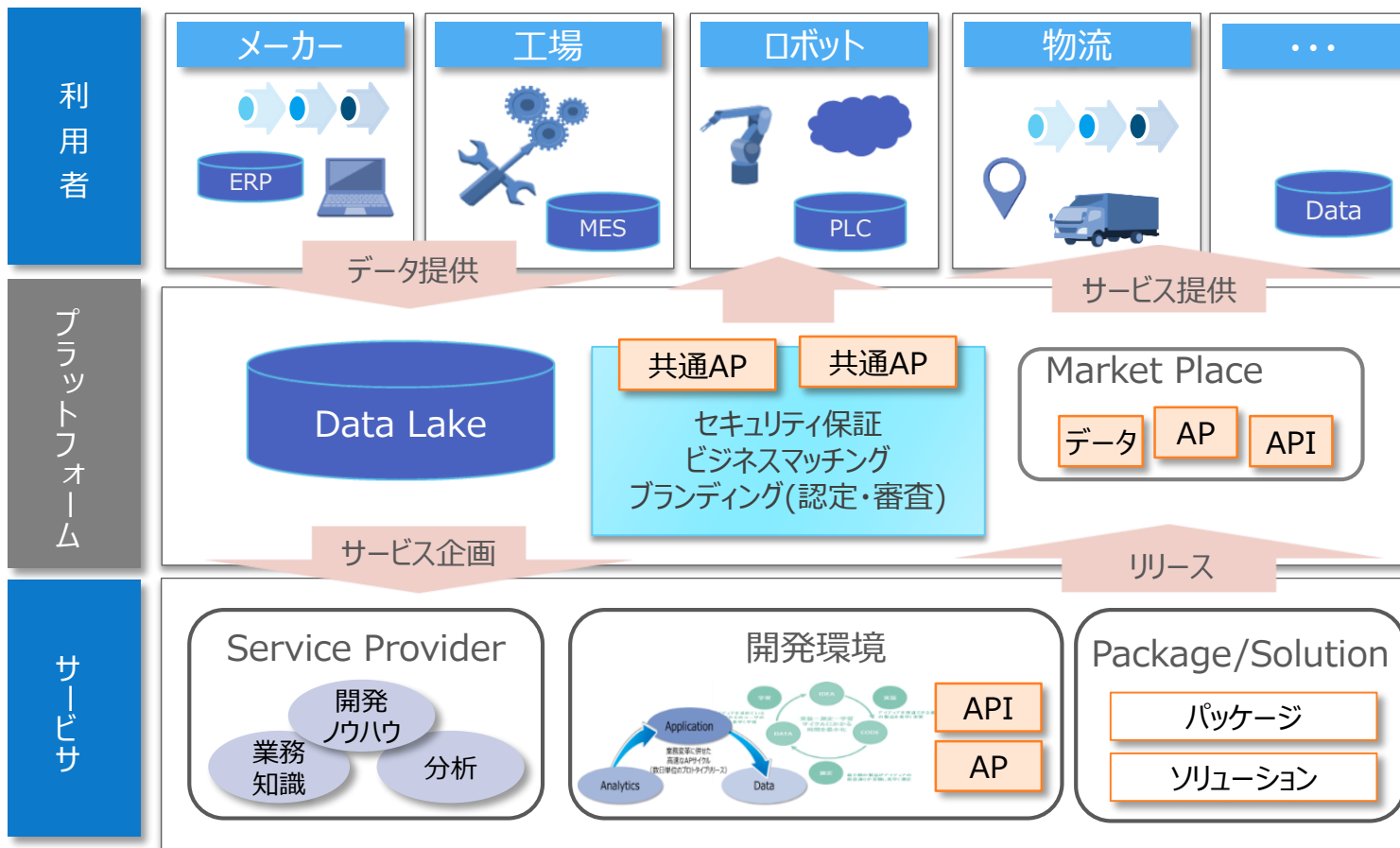


5. オープンプラットフォームの利用効果

- プラットフォームのビジネス上の利点につながる最大の特徴は、利用者が増えれば増えるほど、新たな価値を創造し、好循環が生まれます。

プラットフォーム活用イメージ

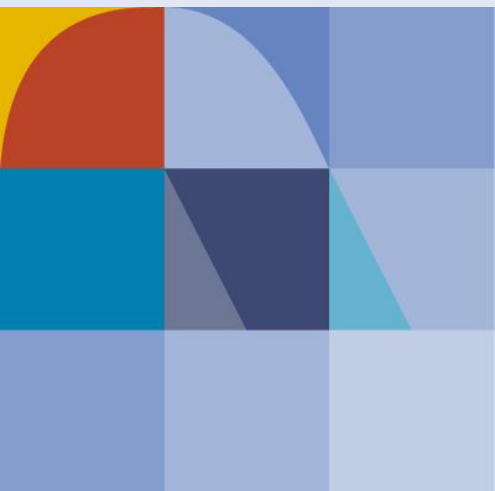
活用効果



新たな
ビジネス機会
の創出

多種多様な
データ蓄積による
PF価値の向上

より価値の高い
データ活用サービスの
創出



NTT DATA

Global IT Innovator